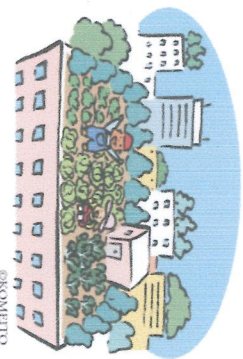


教育施策の充実を

環境や防災、平和教育の推進を！

区議会公明党は、環境や防災、平和などのテーマなどの教育を推進するESD（持続発展教育）について質問しました。

新宿区教育委員会は、西戸山小学校がユネスコ協会の状況や、日本の伝統・文化、人権・福祉などについて紹介の学習を行っていること（教育）の基、ESD（持続発展を全区立学校の基に浸透させ、今後、学校教育の国際理解を幅広く環境教育の活動を広げます。



協会の状況や、日本の伝統・文化、人権・福祉などについて紹介の学習を行っていること（教育）の基、ESD（持続発展を全区立学校の基に浸透させ、今後、学校教育の国際理解を幅広く環境教育の活動を広げます。

フリースクールによる多様な学びの場の提供を

フリースクールとは、我が国では不登校の子供たちに多様な学びの場を提供する民間の教育施設を意味しています。今回、公明党はフリースクールに関する国の動向をふまえ、多様な学びの場を提供するための施策を推進すべきと要望しました。



新宿区教育委員会は、子どもの状況に応じた、多様な教育活動の場は、認識、今後はフリースクールを含めての連携についていくと答弁しました。

JR新大久保駅の建替えを伴うバリアフリー整備計画について

東日本旅客鉄道株式会社から新宿区に、「JR新大久保駅の建替えを伴うバリアフリー整備計画について」の情報提供がありました。（計画は下記の通りです）

- 平成32年度までに4階建て駅舎を建設
- 駅構内にエレベーター2基を設置
- 線路上空を活用して連絡通路を整備

※駅舎の駅務施設・店舗等レイアウトなどは検討中とのことです

野もとあきとしは、平成22年9月の議会質問で、バリアフリー化の早期実現を要望し、これまで一貫して取り組んでまいりました。昨年9月、新宿区議会第3回定例会の公明党の質問でも、JR新大久保駅のバリアフリー化の早期実現を訴え、区長はJR東日本による「駅舎の建替えも含め、エレベーター設置によるバリアフリー化を、できる限り早期に実施するよう検討している」との状況を説明し、早期実現に取り組むことを表明していました。

防災トイレの充実を

野もとあきとしは、平成25年9月の決算特別委員会、地域において「災害時のトイレ対策」に取り組む事例を紹介し、重要性を訴えました。しかし、災害時の袋に入った尿等の収集・運搬については、定められていなかったため、区に要望してまいりました。昨年、特別区の「災害時のし尿及びがれき処理の具体的な対応策の検討」で、簡易トイレ便袋等についても回収・焼却処理されることが示されました。予算特別委員会においても、区は平成27年度に「トイレ用のトイレット袋」を充実させ、災害時のトイレ対策に力を入れることを表明しました。



街路灯のLED化の推進を！

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに、小型水銀灯すべてのLED化が決定しました。平成27年度は、大久保1・3丁目、百人町1・2丁目、北新宿1・2丁目、高田馬場1～4丁目など三十数か所地域で、年間680基の工事予定となっています。

メリット
電力消費量が水銀灯の約4分の1
寿命が水銀灯の約5倍

～H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	合計
毎年320基改修						
			毎年680基			
						LED街路灯
						4529 基

1145基



LED街路灯

新宿区議会 平成27年 第2回定例会日程

平成27年6月10日（水）～6月29日（月）

※この日程は予定です。傍聴を希望される方は議会事務局にお問合せ下さい。



←QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は画像を読み込んでいただくことで野もとあきとしモバイルサイトにアクセスできます。